DD５１落穂拾いの巻

少量限定品　価格未定（前回と同程度の価格になる見込みです）

予約受付開始　発売は今年度末を予定しています。

今回は落穂拾いという事で前回、前々回と比べ半分以下の数量の生産予定です。ＤＤ５１という機関車はあまねく北海道より九州まで、１９６０年代初めより現在までと幅広く活躍してきました。その為もあり真鍮製モデルの世界では蒸気機関車同様、完全な特定番号機仕様での発売が当たり前の事となりました。当店製品のコピーモデルが安価に手に入る時代です。当店の機関車モデルは徹底した差別化によりＤＤ５１が大好きな模型ファン一人一人の為に特別に製作しましたと云うコンセプトの基、プロジェクトを進めてまいります。

★受注生産に近い形になります。場合によっては生産取り止めになるバージョンもあるかもしれませんのでその点はご了承下さい。

●TYPE54R JR 北海道北斗星色 1100,1138,1140,1143,1148 各号機
今となっては懐かしの存在となってしまった北斗星色 DD51 から最後まで残ったナンバー を正確に再現致します。

●TYPE56 国鉄 1119,1121 米子　B 寒地タイプ
国鉄時代山陰米子の後期型より三菱製の二つのナンバーを少量生産致します。

●TYPE56B JR 西日本 1183,1191,1192,1193 号機
網干総合運転所宮原支所2ケアンテナスタイル
何れも JR 西日本現役機、宮原所属機の内 1109 を除く三菱製造の DD51 を製作いたします。1183,1191 はアンテナ無し国鉄時代も製作致します。

JR 所属機　現役で活躍中のナンバー　JR 貨物

●TYPE57 JR 貨物　852 号機門司～愛知機関区

昨年惜しくもリタイヤした原色ガマ 852 号機。門司時代には磐越西線における震災復旧輸送で活躍した DD51 の1輌。

●TYPE58 JR 貨物　853 号機愛知機関区

JR 貨物愛知機関区で活躍中の原色機。DD51 現役最若番でもあります。

●TYPE59 JR 貨物 1805 号機愛知機関区
853 号機同様の原色機.853 号機との原色機同士の重連運転も話題となりました。大宮工場における JR 貨物最終最後の全検ガマとなっています。

●TYPE60 JR 貨物 1801,1804 号機愛知機関区 A 更新車赤色塗色
JR 貨物愛知機関区で最も代表的スタイルの DD51.

●TYPE61 JR 貨物 889,893 号機愛知機関区 A 更新車青色塗色
共に活躍中の A 更新機の青色塗装時代を当店では初めて製品化致します。

●TYPE62 JR 貨物 1166 号機鷲別機関区 A 更新車青色塗色
前回の DD51 生産時、北海道鷲別区の赤色更新車として 1156,1165 号機を製作致しましたが今回 1166 号機を青色更新色で製作致します。

●TYPE63 JR791 号機稲沢　A 寒地タイプ　ユーロライナー色
初代ユーロライナー色 592 号機の後を継ぐべく北海道より移動、二代目ユーロライナー色となる。重厚な北海道 A 寒地タイプそのままで活躍した。

以下は国鉄時代の懐かしの DD51 を中心としての落穂ひろい。
●TYPE150A 国鉄 2,3,4 号機　盛岡時代
登場後の改造により燃料タンクをランボード上に増設。東北本線で特急列車、一般旅客列車、貨物列車と C61,C60,D51 等大型蒸気機関車と共に運用に就く。DD511～53 号機は当初インタークーラーの吸気口が小型だったが 1960 年代後半に一般的な大型 3 分割タイプにキセを交換、手すり位置も吸気口キャブ寄りから外よりに移されている。東北本線への DD51500番台車投入後秋田へ移動している。

●TYPE150B 国鉄 2,3 号機　秋田時代
盛岡より秋田に移動後比較的後年の姿を再現。吸気口部キセの交換他細部ディテールの変化を忠実に再現いたします。

●TYPE150C 国鉄 4 号機岡山時代
4 号機は秋田で 10 年間を過ごした後西国の岡山へと移動。その国鉄末期の姿を再現いたします。

●TYPE151 国鉄 6,9,11 号機吹田第一　暖地タイプ
前回は吹田の DD51 より SG を整備、冬場の福知山線乗り入れ旅客客車列車牽引に使用された 17,18 号機を製作致しましたがこの度は吹田標準スタイルと呼べる6～11 号機より 6、9，11号機の3ナンバーを選び製品化致します。特徴として、キャブ両側面に小型プロテクターを装備、公式側側面のタブレット保護ゴム板は

無し、側手すりは原形の直線、ラジエーターカヴァー上部に放熱器散水装置の穴が無い。また、エンドビーム部には 12,17,18 号機にはある暖房ホース掛けは取り付けられていない。

●TYPE152A,B 国鉄 15,16 号機東新 A 寒地タイプ
取り外し屋根に扇風機カバー「中身は空」が付いたタイプに交換されたグループより今回は 15,16 号機を製作致します。16 号機、ボンネット正面白帯がオリジナルの直線、対して15号機は切り抜きナンバー位置に白帯を通した変形機になります。正面窓部にプロテクターｶﾞ取り付けられた東新、磐越西線で活躍の重装備寒地型。

●TYPE153 国鉄 48,49,51 号機米子 B 寒地タイプ
1970 年代中頃より各地方幹線の電化により DD51 の配置換えが行われるようになります。1974 年蒸気機関車が活躍していた山陰線米子にも DD51 が進出、1980 年代には最大の DD51 保有機関区となっています。当店では稲沢第一からの 627,663,664,鳥栖より移動の 53 号機を製作発売してまいりましたが今回は 48,49,50,51 を製作致します。前回製作の 53 号機とはキャブ側面の印象が異なります。後藤工場において取り外し屋根は扇風機カバー付きのものに、ボンネット上面ハッチは開閉式に交換されています。

●TYPE154 国鉄 501 号機釧路 A 寒地タイプ
前回までの当店の DD51 ｼﾘｰｽﾞに北海道における DD51 の重要な所属区、釧路機関区のものが含まれておりませんでした。今回500番台ﾄｯﾌﾟナンバーを製作致します。

●TYPE155 国鉄 505,506 号機東新 A 寒地タイプ
磐越西線での初期型 DD51 の活躍のバラエティーを模型の上で再現するする事は今回のテーマの一つです。日出谷等における初期型一桁台ナンバーとの DD51 同士の並びが模型で楽しめます。

●TYPE156 国鉄 556～558 美濃太田 A 寒地タイプ
高山本線美濃太田区の DD51 は冬の豪雪地帯を有する為、北海道、東北の DD51 と同じく A 寒地仕様となっているのが珍しく、又この区の DD51 の特徴として独特の形状をした側ステップと前面窓の旋回窓部を逃げているプロテクター形状にあります。

●TYPE157 国鉄 661,662 号機稲沢第一 暖地タイプ
現在の愛知機関区に当たる稲沢第一機関区の DD51.名古屋を中心として東海道、高山、関西本線等で活躍

●TYPE158 国鉄 801～807 号機郡山 寒地タイプ
磐越東線は郡山区の DD51。SG を積んでいない 800 番台としては最初のグループに当たる。このｸﾞﾙｰﾌﾟのみ 800 番台として SG 点検扉が小さくランボードが直線状になっているが、最も大きな特徴としてキャブ屋上に取り外し屋根がなく屋根板が一体となっている事にある。磐越東線では一時 DD51 三重連で人気を集めた事もある。このｸﾞﾙｰﾌﾟは後に高崎区に移動、八高線でも活躍している。

＜お　客　様　ご　注　文　書＞

ご注文年月日　　年　　月　　日

ご氏名　　郵便番号　　-

ご住所

電話番号　　ＦＡＸ番号

メールアドレス

製　品　名	注文数	製　品　名	注文数
TYPE54R　JR　北海道北斗星色 1100,1138,1140,1143,1148 各号機		TYPE150A 国鉄 2,3,4 号機　盛岡時代	
TYPE56 国鉄 1119,1121 米子　B 寒地タイプ		TYPE150B 国鉄 2,3 号機　秋田時代	
TYPE56B ＪR西日本 1183,1191,1192,1193 号機		TYPE150C 国鉄 4 号機岡山時代	
TYPE57 JR 貨物　852 号機門司～愛知機関区		TYPE151 国鉄 6,9,11 号機吹田第一　暖地タイプ	
TYPE58 JR 貨物　853 号機愛知機関区		TYPE152A 国鉄 15 号機東新　A 寒地タイプ	
TYPE59 JR 貨物 1805 号機愛知機関区		TYPE152B 国鉄 16 号機東新　A 寒地タイプ	
TYPE60 JR 貨物 1801,1804 号機愛知機関区 A 更新車赤色塗色		TYPE153 国鉄 48,49,51 号機米子　B 寒地タイプ	
TYPE61 JR 貨物 889,893 号機愛知機関区 A 更新車青色塗色		TYPE154 国鉄 501 号機釧路　A 寒地タイプ	
TYPE62 JR 貨物 1166 号機鷲別機関区 A 更新車青色塗色		TYPE155 国鉄 505,506 号機東新　A 寒地タイプ	
TYPE63 JR791 号機稲沢　A 寒地タイプ ユーロライナー色		TYPE156 国鉄 556～558 美濃太田　A 寒地タイプ	
		TYPE157 国鉄 661,662 号機稲沢第一　暖地タイプ	
		TYPE158 国鉄 801～807 号機郡山　寒地タイプ	

Hobby House
有限会社
ムサシノモデル

〒174-0053　東京都板橋区清水町７３－１
HOME PAGE http://www.musashino-m.co.jp
E-MAIL　order@musashino-m.co.jp
TEL　03　(3961)　5666　FAX　03　(3961)　0317